

# 川井郁子

With  
オーケストラ響 ひびき

ドラマテイツクコンサート

Program (予定)

夕顔～源氏物語より～

展覧会の絵～日本の情景～

リベルタンゴ

さくら

ジュピター

新日本紀行

NHK大河ドラマより「麒麟がくる」ほか

[ヴァイオリン] 川井 郁子  
Ikuko Kawai, violin

[管弦楽] オーケストラ響<sup>ひびき</sup>  
(和楽器奏者と管弦楽団による)  
Orchestra HIBIKI

## IKUKO KAWAI

### DRAMATIC CONCERT

2023 **3/21** (火・祝) 15:00開演 [14:00開場] ザ・シンフォニーホール

S席 6,500円 A席 5,000円 (全席指定・税込) 主催: ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

- e+ (イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯)
- ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード: 55363]
- チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall/> [Pコード: 229-347]

※未就学児のご入場は御遠慮いたしております。※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順等が変更になる場合がございます。※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承ください。





## 川井郁子 ドラマティックコンサート

with オーケストラ響 ~ひびき~

ヴァイオリニストの川井郁子は、ザ・シンフォニーホールでさまざまなスタイルのコンサートを展開してきた。情熱をみなぎらせ、枠に捉われないパフォーマンスを通して多くの人々を魅了する彼女が、ザ・シンフォニーホールの「ドラマティック・コンサート」で関西初の試みを行なう。

コンサートのテーマは、「響」。西洋のオーケストラと和楽器隊とを対等に融合させ、和洋の混合オーケストラを結成。その大編成のオーケストラをバックに、川井は“弾き振り”にも挑む。海外でも演奏される機会の多い彼女のオリジナル曲をはじめ、クライスラー〈プレリュードとアレグロ〉や日本古謡〈さくら〉といった古今東西の作品、NHKの大河ドラマの音楽など、幅広いジャンルの名曲が並ぶ。

川井のこだわりは、音楽にとどまらない。ホール全体を使い、葛飾北斎の浮世絵や日本舞踊などの映像をとり入れ、彼女ならではの“総合芸術”を目指す。「和」と「西洋」とがコラボレーションすることで生まれる、大きな化学反応を感じていただけると確信しています」と彼女は語る。

つねに「革命を起こすような、新たな扉を開くこと」を目標に掲げる川井の、壮大で劇的なステージに期待が膨らむ。

文 道下京子



## 川井郁子 [ヴァイオリニスト・作曲家]

香川県出身。東京芸術大学卒業。同大学院修了。大阪芸術大学教授。

国内外の主要オーケストラをはじめ、世界的コンダクター チョン・ミョンフンや世界的テノール歌手ホセ・カレーラスなどと共演。さらにジャンルを超えてジブシーキングス等のポップス系アーティスト、バレエ・ダンサーの熊川哲也、フィギュア・スケートの荒川静香らとも共演している。

作曲家としてもジャンルを超えた音楽作りに才能を発揮。TVやCM等、映像音楽の作曲も手がける。フィギュアスケートではミシェル・クワン選手、羽生結弦選手など国内外の選手にも楽曲が数多く使用されている。

ニューヨークのカーネギーホールや、パリ・オペラ座、ワシントンD.C.で全米さくら祭りへの出演、中国・西安にて日中平和友好条約締結40周年記念イベント開幕式コンサートに出演するなど国内外で活躍。作曲家としてもジャンルを超えた音楽作りに才能を発揮。TVやCM等、映像音楽の作曲も手がける。フィギュアスケートでは羽生結弦選手や荒川静香選手、ミシェル・クワン選手等、国内外の選手に楽曲が数多く使用されている。第36回日本アカデミー賞で最優秀音楽賞を受賞。また、NHK大河ドラマ「麒麟がくる」の紀行のテーマを担当。CDデビュー20周年記念として、2021年に新国立劇場で音楽舞台「月に抱かれた日」、2022年に和洋混合オーケストラ「響」を結成し、オーチャードホールにてコンサートを行い、各方面より絶賛された。社会的活動として「川井郁子マザーハンド基金」を設立。また全日本社寺観光連盟親善大使、国連 UNHCR 難民サポーターを務める。

使用楽器：ストラディヴァリウス(1715年製 大阪芸術大学所蔵)

オーケストラ響<sup>ひびき</sup>

2022年、デビュー20周年を機に川井郁子が設立した、西洋楽器と和楽器による若手奏者中心の混合オーケストラ。川井郁子が自身の活動の軸としてきた「越境」を体現する唯一無二の存在として、各方面から絶賛されている。



藤倉推峰 [笛]



小湊昭尚 [尺八]



市川 慎 [箏]



長須与佳 [琵琶]



住田福十郎 [鼓]



大塚惇平 [箏]



三浦元則 [箏]



山部泰嗣 [和太鼓]

朝川朋之 [ハーブ]

クリストファー・ハーディ [パーカッション]

tea [ヴォイス]